

第13回 益城町人権フェスティバル

第13回益城町人権フェスティバルが、1月30日(土) 益城町文化会館で開催されました。

□ビーには町内の保育所・幼稚園・小学校・中学校や公民館講座の受講生、平田識字学級生の皆さんから、人権標語や人権に関する習字や絵などたくさん作品が展示されました。「人権を大切にすゝ益城町にしたい」という思いが伝わるスペースとなっていました。

開会行事で、住永町長の「人

権尊重の明るい街づくりを推進し、住んでよし暮らしてよしの益城町を作っていきましょう」とのあいさつがありました。

ステージでは、町内の小・中学校の子どもたちが演劇や構成詩の発表を通して、人権や平和、命の大切さを心から訴えました。

「自分たちが生まれたふるさとを誇りに思い自信を持って生きていく」「本当の友だちをつくり本音で話し合える仲間になりたい」「身の回りからいじめや差別をなくす取り組みをしよう」「一人ひとりが手を結び支え合い、いじめや差別、戦争のない世の中になりたい」という、人権や平和、命の大切さを訴える小中学生のメッセージは、会場を訪れたたくさんの方たちの心にしっかりと届いたことでしょう。

また、平田舞踊教室の皆さんの伝統文化をおして豊かな人権文化を広げる発表や、一人ひとりが心豊かに暮らすことができる社会づくりに尽力している人権擁護委員の皆さんの取組発表は、人権フェスティバルの深まりと広がりにつながっています。

来場者の感想や意見の一部を紹介します。

◇「子どもたちが一生懸命発表している姿がとてもよかったです。自分の学校の方だけでなく、たくさんの人に見てもらいたいと思いました。」

◇「子どもたちの熱心な心の叫びに感動しました。学習したことを発表することで、自身を振り返り、そして人に対する気持ちを再認識することの大切さを改めて子どもたちから学びました。とても勉強になり、心が洗われる思いでした。」

◇「人権フェスティバルで発表して終わりではなく、学校で地域で、家庭で人権についてもっと話し合える雰囲気づくりができるのもっとすばらしいですね。」

◇「子どもたちの発表を見るのができてよかったです。人権について考える時間がもてました。」

◇「子どもたちは生き生きとして発表していました。感心しました。これから先、差別の

ない町になったらいいなあと思います。」

回を重ねることで深まる思いや願いがあります。人権フェスティバルに参加した皆さんが、学校や家庭、職場や地域にこの発表の思いや願いを広げ伝えていくことで、人権が尊重されみんなが明るく仲良く暮らしていける社会の実現に近づいていきます。

人権の熱と光のさらなる広がりを期待しています。

益城町教育委員会

